



整った生活環境でより快適なまちへ。



※将来予想図

キャンプ瑞慶覧 西普天間住宅跡地のまちづくり

キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地のまちづくりは、跡地利用計画を推進するため、土地区画整理事業により道路や公園などの公共施設及び宅地を整備し、沖縄健康医療拠点の中核となる琉球大学医学部及び同病院の移設をはじめ、土地の利用増進を図っております。



ぎのわん海浜公園

県内最大級の総合運動公園で、園内にはトロピカルビーチをはじめ野球場や体育館、グラウンド、児童公園、庭球所、屋外劇場等があり、レクリエーションやレジャーの一大拠点として多くの人に親しまれています。

人口十万人達成

2020年6月2日、宜野湾市の人口が10万人に達しました。人口10万人を超える市は県内で那覇市と沖縄市、うるま市、浦添市に次いで5番目。人口増の要因として、西海岸地域の開発や、子育て環境の充実などが挙げられます。



市道宜野湾11号供用開始

米軍普天間飛行場の東側に隣接する市道宜野湾11号が、事業開始から約43年の時を経て、2021年3月に供用開始しました。本道路は上原から佐真下をつなぐ全長約3,500mの道路で、普天間飛行場建設によって消失した宜野湾街道(並松街道)の代替道路として位置づけ、市東側の国道330号の渋滞緩和と、周辺地域の生活道路の環境改善を目的として整備しました。上原から宜野湾区間の一部軍用地返還などの課題があり、事業休止となった時期もありましたが、地権者の皆様や関係各位のご理解とご協力により、全線供用開始に至りました。

